

博物図譜と デジタルアーカイブ



博物学の時代—ひとと世界をどのように見、記述して来たか

18世紀以降ヨーロッパを中心として、それまでの美術史には収まりきれない文脈の膨大な図像が制作されるようになります。それらは当時新しく登場した博物学を中心とした動・植物図譜、航海記、地図、民俗学的図譜、解剖図譜などであり、多色銅版やリトグラフなど当時の最先端の印刷技術を駆使した書物として出版されました。

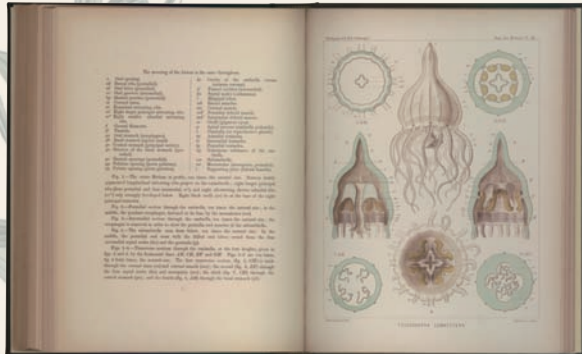
武蔵野美術大学図書館では旧蔵の貴重書に荒俣宏氏旧蔵コレクション[*1]を加えることで、今日的な視点から18世紀以降の博物図譜を軸とする視覚資料を概観することが可能となりました。今回はそれらを公開するとともに、図版全ページを高解像度スキャニングしデジタルアーカイブ化を実施、本展のために開発したタッチパネル式高精細画像閲覧システムによって通常直接手に触れることができない資料を全ページ、細部にわたって閲覧できる環境を提供します。また今後それをもとに恒常的に閲覧できるデータベースを構築することで、本学の研究基盤を成す図像学の観点から美術系・デザイン系の領域を超えた全学生にとって芸術的な視野を広げるだけでなく、新たな創作意欲や研究心の向上に資することを目指しています。また、新美術館・図書館に設置された造形研究センター[*2]を中心として、内外研究者のさらなる研究発展への貢献も期待できるでしょう。なお、本企画に関連した研究は今後も継続され、複数回の展覧会を通してその成果を公開する予定です。

【*1】 荒俣宏氏旧蔵コレクション：当館はこれまで美術・デザイン資料の充実を目指して多数の博物図譜を収集してきました。それら体系的な構築強化のために2006年度から2009年度にかけて文部科学省経常経費研究設備特別補助の採択を得たことにより荒俣宏氏旧蔵のコレクションを収蔵する事が可能となりました。

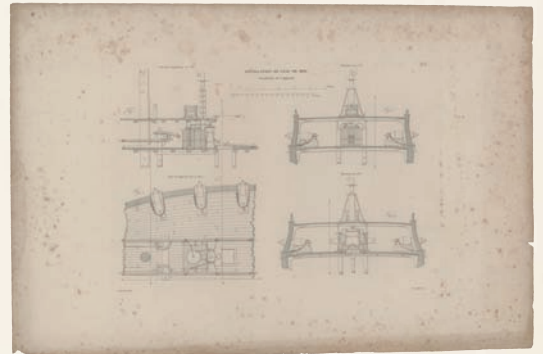
【*2】 造形研究センター：造形研究センターは「2009年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業プログラム」の選定採択を受けて全学的な研究がスタートしました。新棟落成記念に併せて開催する本展は、美術館・図書館と造形研究センター近代デザイン研究プロジェクトチームの共催によって当館が所蔵する貴重書コレクションのデジタル化を推進し、その研究成果を広く公開することを目的として企画されました。



マスカーニ『解剖学遺稿集』



トムソン+マレー『深海クラゲ』



フレシネ『ユラニー号およびフィジシエンヌ号世界周航記録：動物図譜編』



ドルビニ『南アメリカ探検』



デュモン=デュルヴィル『アストロラブ号第1回世界航海』



ヴァイアン『ボニート号世界航海：動物学編』



デュ・プティ=トゥアル『ウエヌス号世界航海』

出品予定リスト (*印は第1期出品。出品物は都合により変更になることがあります。)

- ゴータイエ・ダコティ『人体構造解剖図集』* / フレシネ『ユラニー号およびフィジシエンヌ号世界周航記録：動物図譜編』*
- ソートン『フロラの神殿』* / エリオット『八色鳥科鳥類図譜』* / ドノヴァン『イギリスの昆虫』*
- マスカーニ『解剖学遺稿集』* / ペロン+フレシネ『オーストラリア探検記』* / ファンボルト『コルディエラ景観図集』
- オーデュボン『アメリカの鳥類』 / トムソン+マレー『深海クラゲ』 / デュブレ『コキエユ号世界航海記：動物編』全6巻
- ルソー(ルドーテ画)『植物学』 / ヘルプスト『蟹蛇分類図譜』 / ジャルダン『比較鳥類学』 / ヘッケル『自然の造形』
- 平瀬一郎『貝千種』 / ライヒェンバッハ『オオバン科鳥類図譜』 / フェルサック+ドルビニ『頭足類研究』 …など多数

会期中に荒俣宏客員教授による特別講演を予定しております。

展覧会詳細および特別講演等の関連イベントについては下記ホームページをご覧ください。

<http://www.musabi.ac.jp/library>



問い合わせ先：武蔵野美術大学 美術館・図書館 美術資料担当
187-8505 東京都小平市小川町1-7-36 / TEL: 042-342-6003

交通アクセス 1. JR 中央線「国分寺」駅北口徒歩3分「国分寺駅北入口」バス停より「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行に乗車、「武蔵野美術大学」下車(バス所要時間：約20分)
2. JR 中央線「国分寺」駅で西武国分寺線「東村山」行に乗り換、「鷹の台」下車徒歩約20分

